伊那市地域おこし協力隊　活動紹介

令和８年度上半期（令和８年4月～令和7年9月）

ミッション名	伊那谷フィルムコミッション 魅力発信コーディネーター	氏名	安部まりか

区分	活動内容	今後の対応
業務の概要	●ロケ地の誘致やロケ受入に関する全般業務 ●関係者や関係機関などとの連絡調整 ●フィルムコミッション事業運営やシティプロモーション事業（主にSNS発信） ●観光課、観光協会イベントへの協力	活動予定 ●10月17日創造館に映画「かくしごと」の関根監督を招いてロケ撮影・誘致セミナー「みんなで、ロケ地をつくる」開催 ●映画公開にあわせロケ地等を活用した伊那市のPR企画（聖地巡礼やロケ地マップ作成など） ●ロケ誘致のため、JFC主催の全国ロケ地フェア2026(冬)出展 ●地域創造課と連携し、地域のロケ地になりうる物件情報の収集 ●11月末に決定している、Netflixドラマの円滑なロケ支援
これまでの活動内容	**●問い合わせ対応･ロケ地提案･ロケ支援** 制作関係者からのメール等による問い合わせに対応し、作品の条件に合うロケ地の提案や、ロケハンへの同行を行いました。決定した撮影においては、お弁当や宿泊など伊那市内事業者をご紹介し、ご利用いただいた事例もありました。 **･問い合わせ対応：58件（令和7年度上期：48件）** **･ロケハンへの同行：34件（令和7年度上期：26件）** **･ロケ支援（撮影実施）：14件（令和7年度上期：12件）** **･入笠高原　普通財産貸付収入　770,000円（9月末時点）**	

▽上期（4月～9月）問合せ実績

問合実績	映画	ドラマ	テレビ	CM	ＭＶ	広告写真	YouTube	その他	総計
R8 年	**6**	**9**	**8**	**11**	**12**	**9**	**1**	**2**	**58**
R7 年	6	6	4	10	18	2	1	1	48

▽上期（4月～9月）撮影実績

撮影実施	映画	ドラマ	テレビ	CM	ＭＶ	広告写真	YouTube	その他	総計
R8 年	**1**	**1**	**4**	**3**	**2**	**3**	**0**	**0**	**14**
R7 年	2	1	1	3	2	2	1	0	12

これまでの活動内容	いずれの活動も、前年度上期の件数を上回りました。 なお、ロケ支援については、9月の天候不順のため、撮影が決定していたミュージックビデオと外食業研修動画（その他）が撮影中止となったので、上期の支援作品数としては16件となります。 昨年度ご相談を受けた制作担当者から、新規案件の相談をいただく事例が4件ありました。このほか、制作関係者同士のつながりを通じて、伊那谷フィルムコミッションをご紹介いただく事例も数件。相談がすぐに撮影につながるとは限りませんが、これまでの対応や関係づくりを通じて、制作現場で少しずつ伊那谷フィルムコミッションが知られるようになってきたと感じています。 **●企画展の開催** 4月6日から伊那市創造館にて、企画展「伊那谷フィルムコミッションのしごと」を開催しています（10月26日まで）。伊那市内で撮影された映画を切り口に、伊那谷フィルムコミッションと地域の皆さまによる、これまでの取り組みを紹介しています。 **・4月から10/21までの来場者数　1,650名** ※内、７月　信州フィルムコミッションネットワーク地域連絡会議　20名 ８月　地域おこし協力隊 月例会議　14名　の開催を含む。 県内外から多くの方に企画展へご来場いただき、「伊那でこんなに多くの作品が撮られていることを知った」「美術小道具などが充実していて楽しかった」「伊那市の常設展にしてほしい」などの感想が寄せられ、好評をいただいています。 企画展開催中に、近隣の自治体からフィルムコミッション担当者が集まる、「信州フィルムコミッションネットワーク連絡会議（7/1）」や、毎月持ち回りで会場を設定している「地域おこし協力隊月例会議（8/19）」を創造館で実施し、創造館が映画で利用されたことをフックに見学をしていただきながら、「伊那市指定有形文化財」であることを伝え、伊那市にある特別なもの・伊那市民にとっては身近にある特別なものを、体験と共に紹介することができました。 **●伊那谷フィルムコミッション公式SNS投稿**（25件）**●情報誌「e-10」への寄稿**（毎月）		

●下期に向けた取り組み

・10/17 ロケ誘致支援セミナー@伊那市創造館「みんなで、ロケ地をつくる」の開催

映画「かくしごと」の監督関根光才さんをお迎えし、市民や事業者の方々、自治体の皆さんへ『地域がロケ地をつくり、ロケ地が映画をつくる』ということを知っていただくセミナーを実施予定。

・JFCロケ地フェア(冬)への出展

今年3月に行われた撮影は、前年度に伊那谷FCが参加したフェアがきっかけとなりました。
下期のロケ地フェアに出展し、制作関係者との接点を増やすとともに、継続した関係づくりと新たな撮影の誘致につなげていきたいと考えています。

課題

●ロケ地問い合わせ経路を増やす

●ロケ支援した作品の、伊那での上映舞台挨拶など、市民への還元となる企画

●ロケ地、実績、関係者名簿などのデータ整備

企画展についてのメディア掲載

◀中日新聞



中日新聞 2026年(令和8年)5月17日(日曜日) アルプス 12

伊那谷FC発信強化 伊那へ問い合わせ相次ぐ

わが街発見

アルプス版

豊かな自然 ロケ地に人気

伊那市がフィルムコミッション(FC)をつくり、映画やドラマのロケ誘致を通じた地域活性化に力を入れている。昨年4月、地域おこし協力隊として映像業界での勤務経験がある安部まりかさん(48)が「伊那谷FC魅力発信コーディネーター」に着任。映画制作会社などからの相次ぐロケ地探しの問い合わせに応じ、新たなロケも決まっている。

伊那は東京から3時間ほど。地の利に加え、日本の原風景や豊かな自然を撮影できる場所として人気があるという。中でも人気があるのは、入笠高原。牛の放牧はされなくなったが、手入れが行き届いた牧草地で一般の人が入れない場所も多く、ドローン撮影が可能で撮影しやすいこともポイントだという。

標高が高く「日本らしくない木」もあって、さまざまな舞台設定で使われる。「アラスカの森」「貴婦人の丘」「約束の丘」などと名付けられた場所は特に美しく、「唯一無二の存在」として制作会社などには知られているという。

信州高遠藩少年自然の家(同市高遠町藤沢)も敷地内に豊かな自然が残り、さまざまな情景が撮影できることから人気。市創造館(同市荒井)は1930年築のレトロな建物が時代を表現する場面などで重宝される。

映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」(25年)、映画「ゴールデンカムイ 網走監獄襲撃編」(26年)も入笠高原で撮影。今後も多くの作品の公開が控えている。

10月26日まで市創造館でこれまでのロケを振り返っている「伊那谷フィルムコミッションのしごと」展では、劇中で使用した看板やチラシ、衣装、俳優のサイン色紙などが並ぶ。

全編を市内や辰野町で撮影した是枝裕和監督によるテレビドラマ「ゴーイングマイ ホーム」(12年)での舞台となった架空の街は、同市高遠町がモデル。当時作られた地図にはロケ地の写真も。「杜郡町役場」の看板が掲げられた旧高遠町総合支所の建物や、辰野病院(辰野町)など懐かしい風景が映る。

展示に合わせて撮影実績をまとめたところ、昨年度までにコマーシャルやミュージックビデオなども合わせると285件が撮影されていた。「問い合わせ件数はその数倍」と安部さん。「伊那の魅力を伝えて成功率を高めたい」と意気込む。

ロケハンやロケでは現場に立ち会い、施設の管理者との仲介役として「いわば通訳のように説明をすることもあります」

近隣FCとの連携も欠かせない。諏訪圏FC(諏訪市)が制作会社などの希望に沿う場所として伊那市内のロケ地を紹介することもあれば、その逆も。互いに宿泊施設が足りない場合に連絡を取り合うなど補い合って誘致の成功率を高めている。連携してみんなでうまくできるといいと話す。

ロケ誘致による経済効果にも期待がかかる。撮影は大所帯で、多ければ100人以上。少人数のロケハンでも3回はスタッフが訪れるという。宿泊や飲食店などはもちろん、ロケ中の弁当を手配することもある。今後、力を入れたいのは「聖地巡礼」効果が見込めるアニメ作品の誘致だという。

安部さんは「地元の人も、伊那にこんなにすてきな場所があることを知らない方もいる。展示やロケ作品を見て、有名になっている場所があると知ってほしい」と力を込めた。

❷「伊那谷フィルムコミッションのしごと」展を紹介する安部さん
❸俳優のサイン色紙や映画の台本=いずれも伊那市荒井の市創造館で

映画「ゴールデンカムイ 網走監獄襲撃編」の撮影風景=伊那市の入笠高原で(伊那谷FC提供)

稲熊美紗記者

上郷小6年 黒川絵梨 私の夢は、美容師になることです。理由は小さいとき、久しぶりに髪を切りに行ったらすごく優しくとても気に入り、美容師になり、たくさんの人に喜んでもらいたいと思ったからです。夢をかなえるために頑張ります。

「伊那市役所FC研究会」を前身に2010年、市職員有志が「伊那谷FC」を設立し、専任の職員を置かず部署横断の態勢で対応してきた。

最初のロケ作品は、09年3月にテレビで放送された「世にも奇妙な物語'09春の特別編」。その後も映画「スキヤキ金縛り」(11年)、映画「ALWAYS 三丁目の夕日'64」(12年)などヒット作が続いた。最近では、映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」(25年)、映画

◀長野日報



きらきら

安部 まりか(あべ)さん 48

伊那市地域おこし協力隊

映画業界で伊那市は有名

市内で行われる映画撮影の支援や仲介をする「伊那谷フィルムコミッション」の担当です。伊那市創造館で開催中の企画展「伊那谷フィルムコミッションのしごと」にも携わっています。撮影された映画や劇中の小道具を見てもらい、伊那市が映画業界で有名なことを知ってほしいです。